

## 企画展「昭和の時間に包まれる 北原コレクションと所蔵資料」 及び関連イベント開催のお知らせ

横浜市歴史博物館では、企画展「昭和の時間に包まれる 北原コレクションと所蔵資料」を開催します。本展では、昭和を知らない世代（平成・令和生まれ）の方々に昭和を伝えるのみならず、昭和を生きた人々にその体験を思い出してもらおう機会を提供します。

### 展覧会概要

- 【会 期】 令和 8 年 7 月 4 日（土）～8 月 23 日（日）  
 【開館時間】 9 時～17 時（券売は 16 時 30 分まで）  
 【休 館 日】 月曜日（ただし 7 月 20 日は開館）、7 月 21 日（火）  
 【会 場】 横浜市歴史博物館 企画展示室  
 【主 催】 (公財) 横浜市ふるさと歴史財団  
 【共 催】 横浜市教育委員会  
 【特別協力】 北原照久、TOY MUSEUM (旧ブリキのおもちゃ博物館)  
 【観 覧 料】 一般 1,000 円 (800 円)、高校・大学生 800 円 (640 円)、  
 小・中学生/横浜市内在住 65 歳以上 400 円 (320 円)  
 ※企画展示室のみ。( )内は団体 20 名以上の料金。  
 【前 売 券】 一般 960 円、高校・大学生 720 円、小・中学生および横  
 浜市内在住 65 歳以上 360 円

- ① 横浜市歴史博物館 1 階 インフォメーション〔5 月 22 日～7 月 3 日〕  
 ② チケットぴあ (P コード: 687497) 〔5 月 22 日～7 月 3 日〕  
 ▶ <http://ticket.pia.jp/pia/event.ds?eventCd=2620789>

### 【開催趣旨】

昭和 100 年を迎え、昭和を体験している人々がいまだ人口の多数（約 7 割）を占めている現在にあって、昭和を知らない世代の人々（平成・令和生まれ）に昭和を伝えるだけでなく、昭和を生きた人々にその体験を思い出してもらおう機会を提供します。

特に、戦後の高度経済成長期における日本は、物質的に皆が豊かになっていくなかで、「お得」や「便利」といったカテゴリだけではない「あこがれ」といったモチベーションが世の中を席捲していた時代です。北原コレクションと当館所蔵資料のコラボレーションを通じて、昭和の日常のなかで使われた家電やおもちゃ、企業広告、一般的な商店のミニチュアのほか、日産や不二家といった横浜にゆかりのある企業資料も紹介します。

### 関連イベント

講演会やギャラリートークなどの関連イベントを実施します。詳細は当館ホームページをご覧ください。

- ◆講演会「北原コレクションと昭和 100 年」〔7 月 26 日（日）〕※事前申込制（応募多数の場合は抽選）  
 北原照久氏（TOY MUSEUM 館長）による講演会です。

会場：横浜市歴史博物館講堂 参加費：1,000 円 定員：170 名

- ◆ギャラリートーク〔8 月 8 日（土）・8 月 9 日（日）・8 月 22 日（土）〕※事前申込不要  
 担当学芸員が展示のみどころを解説します。

- ◆ぬりえ・作画体験「塗って描いて昭和のモノたち」※事前申込不要

会期内エントランスホールにて資料写真のトレースを使ってぬりえ・作画体験ができます。

- ◆B-wave による昭和 100 年展示関連ミュージカル「くるくるレックル TIME TRIP☆」

〔8 月 9 日（日）・8 月 11 日（火祝）〕



## 「昭和の時間に包まれる」の主な展示資料のみどころ

### 昭和を感じさせる精巧なミニチュア資料

当時の日常を切り取ったような造形に加え、そこで暮らす人々の心情や温かさなど、人々の暮らしの息吹が聞こえるような作品たちです。ブリキのおもちゃのコレクションで有名な北原照久氏ですが、おもちゃ以外にも、ミニチュアや企業マスコット、ノベルティグッズ、ポスターなど、そのコレクションは多彩です。そんなコレクションの中から、昭和を感じさせるミニチュアとして、街の電気屋さんや本屋さん、映画館の三つを展示します。さまざまな角度から眺めていただくことでミニチュアの世界観や昭和にタイムスリップしたような感覚をお楽しみください。なお、本展覧会はいずれの資料も撮影可能となっています。



ミニチュア「それは、夢の入り口だった」たかばやしりつこ氏 令和5年(2025)作 北原コレクション

### 昭和の時代の道具たち 家電「三種の神器」

一般家庭における文化的な豊かさの象徴とされた、白黒テレビ・電気洗濯機・電気冷蔵庫の三つの家電。これらは総称して「三種の神器」と呼ばれ、これらをそろえた暮らしが憧れになり、また生活での目標となりました。この当館が所蔵する「三種の神器」という呼び方は、昭和29年(1954)頃から言われはじめたとされ、その後、これら豊かさの象徴は「3C」とされるカラーテレビ・クーラー・車(Color TV, Cooler Car)へと変わって行きます。本展覧会ではこの「三種の神器」を展示。「三種の神器」が登場する前の時代にも思いを馳せながら当時の豊かさの象徴をご覧になってみてください。ちなみに、「三種の神器」が普及しはじめた当初、一番普及していたのは何だと思いませんか？答えは展覧会にてご確認ください。



洗濯機「NATIONAL N-450—自動反転 Hi Line type」

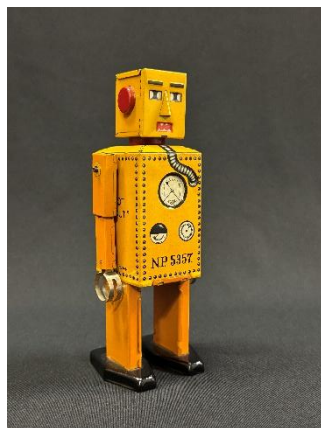
1960年代 当館所蔵  
洗濯槽の横に2本のゴム製ローラーとハンドルが付いています。洗い終わった洗濯物をローラーに挟み、ハンドルを手で回して水を絞り出す仕組みです。

### もちろんブリキロボットや各種コレクション資料も展示！

北原氏の代名詞であるブリキのおもちゃをはじめ、各種コレクション資料も展示します。昭和初期に日本で発売されたブリキ製ロボット玩具の第1号とされている「Lilliput」や、昭和30年代からの世界的な宇宙開発による宇宙ブームに関連した「Space Robot Rocket」などのほか、貸本やレコード、雑誌の付録やグリコのおもちゃなど、膨大な北原コレクションの多様さも紹介します。



ブリキロボット「Space Robot Rocket」  
1950年代 北原コレクション



ブリキロボット「Lilliput」

1940年代 北原コレクション

多彩な北原コレクションと横浜市歴史博物館の所蔵資料で織りなす昭和の時間をぜひお楽しみください。

**一般公開に先立ち開催前日の7月3日(金)14時から報道関係者向けに内覧会を開催します。担当学芸員が展覧会の見どころをご案内いたします。詳しくは追ってお知らせいたします。**

お問合せ先

横浜市歴史博物館 TEL 045-912-7777

副館長：古屋紀之 展示担当：小林光一郎 広報担当：阿諏訪青美・鶴沢倫子・神谷量子・仲泉剛